

2024/4/22

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(4月15日～4月19日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,382.0	1,400.0	1,371.5	1,382.2	+6.8
JPY/KRW	9.0138	9.0706	8.8988	8.9503	▲0.026
KOSPI	2,661.36	2,673.26	2,553.55	2,591.86	▲89.96

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上下に荒い値動き。イスラエルがイランへの対抗措置を講じるとの報道により地政学リスクの高まりを受けたドル買いが進行。ドル/ウォンは1,382.0ウォンでオープン。15日夜間にはリスクオフのドル買いが進み、翌16日は1,390ウォン付近でオープン。更に、中国人民銀行が人民元の基準値を約1か月半ぶりに弱い水準に設定すると人民元安が進行。ウォンも売られ、一時1,400.0ウォンにタッチした。翌日17日は人民元の基準値が前日と同水準に設定されると、ここ数日急速にドル高が進んだこともあり自律反発の動きから人民元やウォン買いが進んだ。17日夜間には日・米・韓財務相会談が開催され、ウォン安・円安への懸念が示され介入警戒感が高まった。翌18日に1,370ウォン台前半まで下落するも海外時間にFRB高官からタカ派な発言が相次ぐと再びドル買いに。19日はイスラエルがイランへ攻撃を実施したとの報道があり、再びドル/ウォンは一時1,390ウォン台まで上昇。韓国当局から「為替の行き過ぎた変動には即時に断固たる措置を講じる」との口先介入が行われ、その後は攻撃の範囲も限定的だったことも相まって水準を戻し、前週末比+6.8ウォンの1,382.2ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い推移を予想。先週末中東地政学リスク懸念は一服するも、米利下げ開始時期の後退と米金利高は継続。韓国企業による配当金送金によるフローも引き続きウォン売り要因となろう。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 22日(月) 欧 4月 消費者信頼感指数 速報値
- 23日(火) 米 4月 製造業PMI 速報値
- 欧 4月 製造業PMI 速報値
- 米 4月 サービス業PMI 速報値
- 欧 4月 サービス業PMI 速報値
- 米 3月 新築住宅販売件数
- 24日(水) 米 3月 耐久財受注 速報値
- 25日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数
- 米 1Q GDP 一次速報
- 韓 1Q GDP 一次速報
- 26日(金) 米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 米 3月 個人所得
- 米 3月 個人消費
- 日 4月 東京都区内CPI

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1365 ~ 1395	8.85 ~ 9.15	152.0 ~ 155.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。